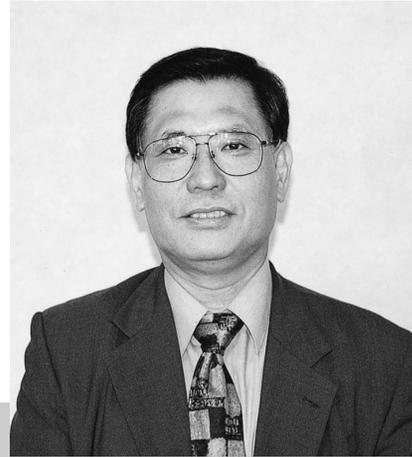


インタビュー
コーナー

会館を薬剤師活動の拠点として薬剤師の資質向上のため活発に活用し、地域医療に貢献して県民の保健・医療・福祉の向上に努めていきたいと思ひます。



沖縄県薬剤師会 会長
神村 武之 先生

Q1. 沖縄県薬剤師会会長になられて3期目とお聞きし、安定した会務運営に当たられていると思ひますが、これまでの会長としての取り組みや、今後の抱負についてお聞かせ下さい。

平成17年に会長に信任を受け、平成21年で3期目になりました。就任当期より祈願であった新会館建設に取り組み、昨年無事完成に至りました。薬剤師活動の拠点として活発な活用・運用をしていきたい。

近年は、医療に対する国民からの要望が高度化、複雑化しており、医療人への期待は増々強まっております。薬剤師に対してもより高度な専門性が求められ、薬剤師教育が6年生制度になりました。

医療の担い手の一員として、薬剤師に負託された責務を果たせるよう、充実した生涯教育等を含め、会の活動を強化していきたい。直面した課題として、薬事法改正による医薬品販売制度について、市場経済の活性化、利便性の名目で医薬品もインターネットで自由販売にすべきとのネット業界からの要請には、医薬品の安全性の確保並びに適性使用を担う薬剤師として、組織として、断固反対していきたい。

Q2. 貴会の会員数と基本的な活動内容について

お聞かせ下さい。

現在、会員数1,100名余で、薬剤師数全体の約65%開局薬剤師並びに管理薬剤師はほとんど入会していますが、その他の勤務薬剤師、行政薬剤師等の入会率が低い。当面70%以上の入会率を目指したい。

下記のような基本的な活動を行っております。

- 学術大会開催（年1回、今年第25回）
- 生涯教育
- 各種研修会
- 6地区・15支部組織強化
- 8部会、11委員会活動
- 医薬品事故・過誤等の防止対策
- 薬物乱用防止対策運動
- 県民公開講演会、健康とおくすり相談会
- 関連機関、団体との連携

Q3. 貴会は一昨年、新会館を建設され、活発な活動が展開されていると思ひますが、現在、特に力を入れている取り組み等がありましたら教えて下さい。

医師会、薬剤師会、2～3年後に看護協会、そして歯科医師会が会館建設を予定されており、四師会が同一医療ゾーンに集結し、相互に幅広い活用ができる全国に誇れる環境となる事

を喜んでおります。

会館に附属する施設として、薬事情報センター、試験検査センター、休日・夜間会営薬局の業務を行っております。

薬事情報センターには医薬品、薬事に関する相談とインターネット上のホームページに年間数万件のアクセスがあります。医師からの問合せも数件あります。どうぞお気軽にご利用下さい。

試験検査センターは医薬品の定性、定量、溶出試験を始め、化粧品の細菌検査、学校の飲料水・プール水等の水質検査、室内空気汚染検査、ダニ・アレルゲン等の検査を行っています。

休日・夜間会営薬局医療センター前は、土日、祝祭日（9時～24時）平日夜間（19時～24時）を開局致しております。以前より病院側から受入れ要請がありましたが、民間薬局では対応できず、会営で対応することになり、会員が輪番制で勤務致しております。休日・夜間救急の医薬品供給態勢を整え、地域医療への参画の足がかりを作りました。今後は、各地区と連携をとりながら基盤整備に取り組んでいきたい。ただ、経営面での財源が厳しく課題も有ります。

Q4. 今回の診療報酬点数の改定につきまして、ご意見があればお聞かせ下さい。

10年振りのプラス改定といわれますが、実質面でのプラス効果はわかりません。特に今回の調剤報酬の改定では、後発医薬品数量ベースの使用率で点数配分されました。

沖縄県は処方せんに占める率が30%を超えており、全国でダントツ一位であります。薬剤師も努力して推奨致しておりますが、他県と比べ医師の先生方の積極性と県民性からの分析もされております。

ただし薬局においては、備蓄薬品数の増、並びにデッドストックによる期限切れ品が増えており、苦慮しております。

Q5. 院外処方現在の達成度、並びに将来の達成目標についてお聞かせ下さい。

沖縄県の分業率は平成21年4月に69%で全

国8位、全国1位は秋田県で78%です。達成目標としては、率よりも医師・患者様・県民から安心して納得していただけるよう質の向上を計りつつ、完成分業を目指していきたい。

ご支援の程お願い致します。

Q6. 沖縄県医師会に対してのご意見・ご要望がございましたらお聞かせください。

医師会の先生方には、常日頃より処方せん発行を始め、研修会、講演会での講師派遣等、多大なご協力ご指導を賜り心より感謝申し上げます。

医師会を柱として四師会で尚一層の連携を計り、薬局、薬剤師を地域連携パスに参画させて頂いてご利用ご指導を賜りたいと思います。

薬学教育が6年制となり、5学年生時に長期実務実習が行われます。今年5月より街の薬局で2.5ヶ月、病院で2.5ヶ月の実習カリキュラムが組み立てられており、受入病院側並びに医師の先生方にもお世話になります。その節にはご指導の程よろしくお願い申し上げます。

Q7. 最後に日頃の健康法、趣味、座右の銘等がございましたら、是非お聞かせください。

特に座右の銘という程のものはなく、動揺することなく事に当たりたいと心しているのが、“平常心”です。“成せば成る”“なんくるないさ”精神とでも言いますか。

健康法としては、禁煙して28年、ところがストレス解消と理由付けして暴飲暴食、気付けば高血圧、高脂血症とメタボリックです。

運動は好きな方でどちらかと言えば体育系で育ってきました。数々のスポーツはやりましたが、ゴルフを1度もやった事がなく、今時めずらしいと言われております。ただ、趣味で続けている空手道を45年程修っておりますが、最近は公・私用の為、時間が限られ残念に思っている所です。

この度は、インタビューへご回答いただき、誠にありがとうございました。

インタビューアー：広報担当理事 當銘 正彦